

新潟市マンガ・アニメ情報館 及び 新潟市マンガの家

令和 5 年度事業計画書

【施設運営】新潟市マンガ・アニメ情報館

① 常設展示室

各所稼働の維持管理強化と新規の取り組みによる新たな価値向上を目指す。

■各展示コーナーのモニター、システムの老朽化対策。

不具合機器のメンテナンス強化、随時機器代替作業を行う。

■「にいがたのマンガ・アニメクリエイター」のデータ更新。

当館と文化政策課にて更新内容を確認し半期ごとを目途に更新作業を行う。

更新作業予定：1 回目) 10 月 2 回目) 3 月

■ミニシアター、ピックアップコーナーの新規外部利用機会の創出。

主にアニメスタジオ、コンテンツ開発企業、学校を中心に誘致し、ネットワークづくり、教育支援に寄与するとともに入場料収入増の効果も狙う。

実施予定：8 月) Gugenka 他 2 回

■小中学校向け団体誘致プランの作成

同分野の職業啓蒙としてキャリア教育施設と小中学校などの今後はより市外、県外などの学校様に繋がれるよう旅行企画会社などへのアピールを増やし誘客に繋げる。

進行予定：4 月～6 月) 企画内容検討 7 月～8 月) デザイン、広報

② 企画展示室

■マンガ、アニメのコアなファンに向けた作品の他、年齢層や嗜好を問わず広く認知された作品などを織り交ぜ、より広い市民の方においでいただけるような展覧会スケジュールを構築する。令和 5 年度は指定管理業務として検討中も含み以下の 6 本の企画展を開催する。

○ガールズ&パンツァー博覧会

令和 5 年 4 月 8 日～5 月 14 日 (37 日間)

※アニメ原画、キャラクターフォトスポット多数展示。

○しげの秀一原画展

令和5年5月20日～7月2日（44日間）

※本県出身マンガ家。画業40周年記念展。

他4回

■企画展がない期間を利用しイベント等を実施することで新規の集客、収入増につなげる。

100人規模 単日・短期間の利用を想定

進行予定：4月～8月）利用条件等検討・誘致 10月）実施

【施設運営】新潟市マンガの家

① 常設展示コーナー

各所稼働の維持管理強化と新規の取り組みによる新たな価値向上を目指す。

■蔵書メンテナンス強化と新潟ゆかりの作家、作品の購入を随時進める。

■蔵書コーナー『おすすめ本棚』

開志専門職大学マンガ・アニメ学部学生による推薦作品を並べた本棚を作成。PRするPOPなども作成し掲示する。

入替実施）年4回

■創作系同人誌即売会コミティアとの連携強化

同即売会の新潟開催に合わせて同人誌の読書会を実施する。誘客と同時に創作活動を支援する施設というコンセプトをPRする。

実施予定）7月 11月

② 企画展示コーナー

■地域資源を活用した展示を検討中のものも含め年1回以上開催する。

○マンガの家シリーズ企画展『オシエシ（推し絵師）！』

令和5年5月～ 年3回開催予定

※新潟市在住の若手クリエイターを発掘し紹介するミニ展示会。初回は5月より新潟市在住のイラストレーター「necoco」さんの個展を予定。

○『開志学園高校作品展』

令和5年12月～令和6年1月

※例年恒例のマンガイラストコース学生による作品展。過去2回開催。

○『にいがたマンガ大賞作品展』

令和6年2月～4月

※同賞入賞作品や作家応援イラストなど展示。各部門ごとに展示入替する。

○地域イベント関連展示

・10月「古町どんどん」

※イベントポスターやPRマンガの掲示などを検討。

実施進行：7月) 内容検討・商店街との折衝 8月) デザイン 10月) 実施

・11月「がたふえす」

※イベント内容に合わせ検討。

実施進行：8月) がたふえすプログラム決定・内容検討 11月) 実施

③ 制作・体験プログラムの実施

■同分野に限らず、広く創作支援につながる体験内容を下記のように新規企画しメニューを増やす。

○『本をつくろう』講座

実施) 6月、8月、10月

※コミティア、ガタケットなどの同人誌即売会参加無料招待を含め訴求する。

○『小説・マンガ原作を書こう』講座

実施) 11月

○『高齢者向け絵手紙講座』

高齢者施設等へのリサーチ・広報) 9月～10月 実施) 12月

○『にいがたマンガ大賞こどもマンガ講座』

※参加者から同賞応募に繋げる連続講座。計6回開催。

検討) 4月～6月 広報) 6月 実施) 7月～8月

○新潟市こども向け文化プログラム対応講座

※新潟市主催の同プログラムと連携する。計3回開催。

検討) 4月～5月 広報) 6月 実施) 7月～8月

情報館及びマンガの家 連携事業

■情報館開催企画展との連携企画を主に展開し両館の施設利用促進と街の回遊に効果を上げる。

○5月)『しげの秀一原画展』

- ・両館利用者へのノベルティ配布
- ・制作講座「乗り物を描こう」「痛車ぬりえデザイン」

他2回

他施設連携事業

市内外他施設や市内学校・文化施設との連携を積極的に進め、両館の認知を拡大する。

■燕市産業史料館『クブルムの花嫁のセカイ展』相互PR

実施予定) 4月

※両館企画展の相互PRとしてポスター、スタンディなど掲示

■新津美術館『出前美術館』

実施予定) 7月、9月

※市内小学校でのマンガ制作講座講師派遣

■三条市立図書館まちやま『出張版マンガのいっぽ』

実施予定) 5月、8月、10月

※マンガ制作講座講師派遣

広報・PR活動

■同分野ファンとの親和性が高いデジタル広告メディア（Google、ツイッター、インスタなど）を積極的に活用し、紙媒体の告知物を減らすことで資源の効率化を図る。

- ・情報館企画展ごと随時実施

■BSN新潟放送主催声優トークイベントへの協力を通じて館の認知を拡大する。

実施：6月18日（日）新潟県民会館にて開催 800人収容予定

※企画作成、広報デザインなどで協力。

■株式会社ブルボンによる古町メタバース空間「KURASUTO」連携

昨年度からの参加に加え掲載情報を拡充、更新し随時施設情報の発信を行う。

- コロナ明け海外渡航解禁に合わせ、県、市の観光課と連携し海外YouTuber取材の誘致及び機会を増やす。

- 地域企業などとコラボしたキャンペーン、商品開発を進め話題を創出。メディア掲出機会を増加する。

年1回

- マンガの家の常態的なPRとして近隣飲食店とのタイアップチラシを作成し、各店舗での掲示、配布など行う。

4～6月) 検討 9月) デザイン 10月) 配布開始

- 施設アンケートの中心をQRコード、Google Form などデジタルメディアを使ったものに切り替えスムーズなアンケート誘導を行い、即時運営に反映する。

両館実施開始) 5月～

自主事業

現状のミュージアムショップ、展覧会物販事業に加え、各企画展やイベントに合わせた商品を開発し話題性と利益の向上を図る。また、商品の開発には市内事業者との連携を基本とする。

① 情報館

- 下記企画展開催時に合わせて新潟限定グッズを制作する。

年2回

② マンガの家

- マンガ制作画材セットの開発、販売

6月) 検討 10月) 発売

- 有料の制作講座を検討する。

上記販売画材とセットにした講座を企画。